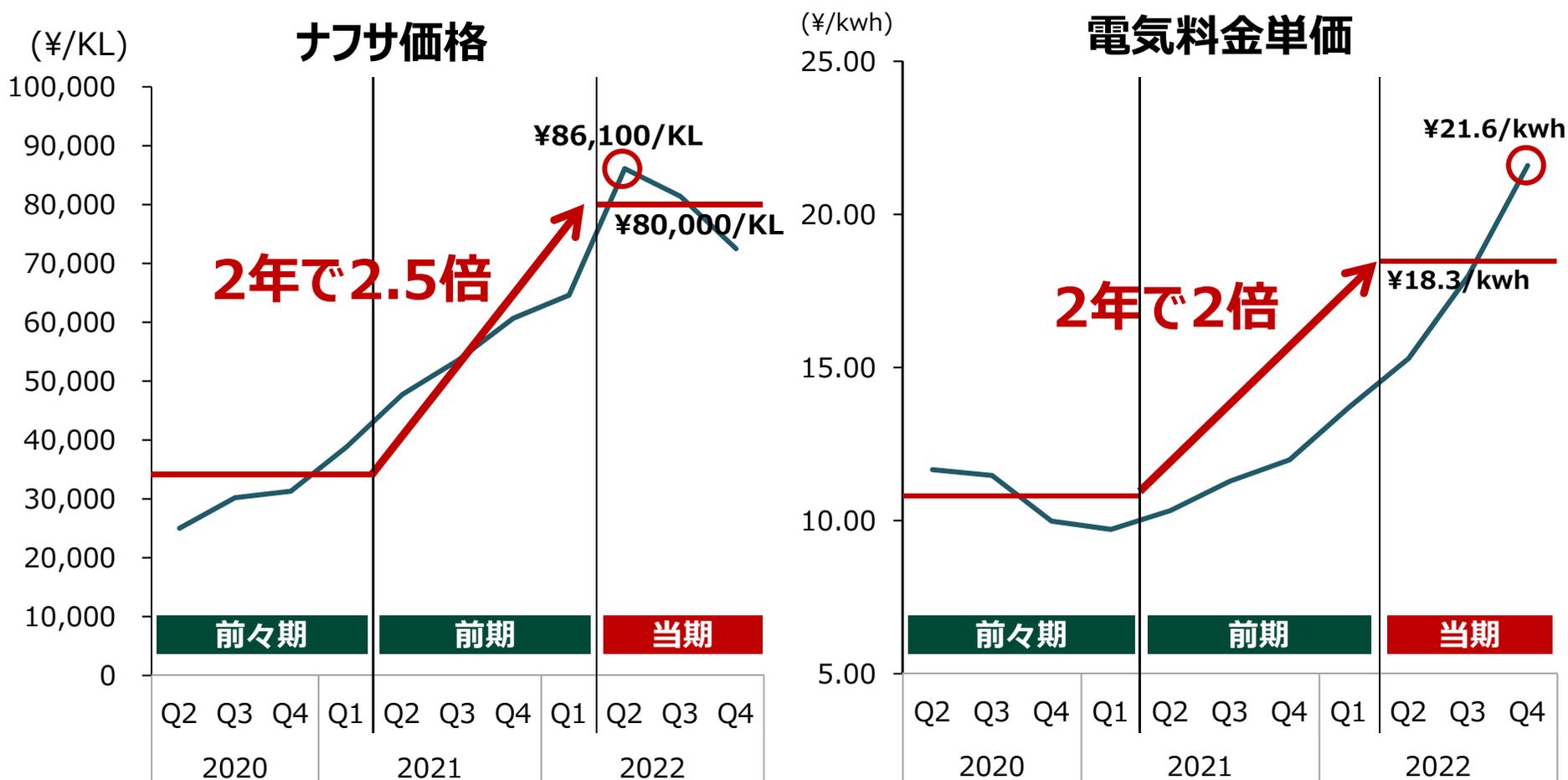


第73回
(2022年度)
定時株主総会

2023年6月23日

 **東洋合成工業株式会社**

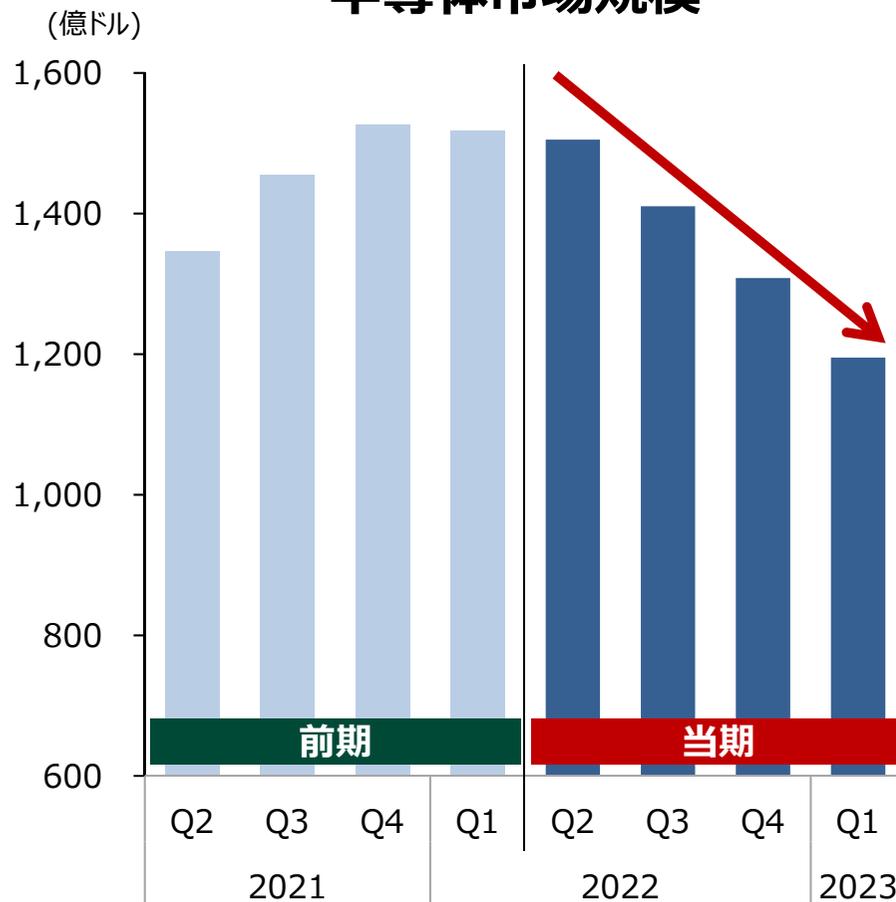
- コロナ禍からの回復、ウクライナ侵攻により世界的にインフレが加速。
- ナフサ価格は2年で2.5倍に高騰。ピークアウトしたものの資源価格は高止まり。
- 電気料金は2年で2倍に高騰し、引き続き上昇基調。



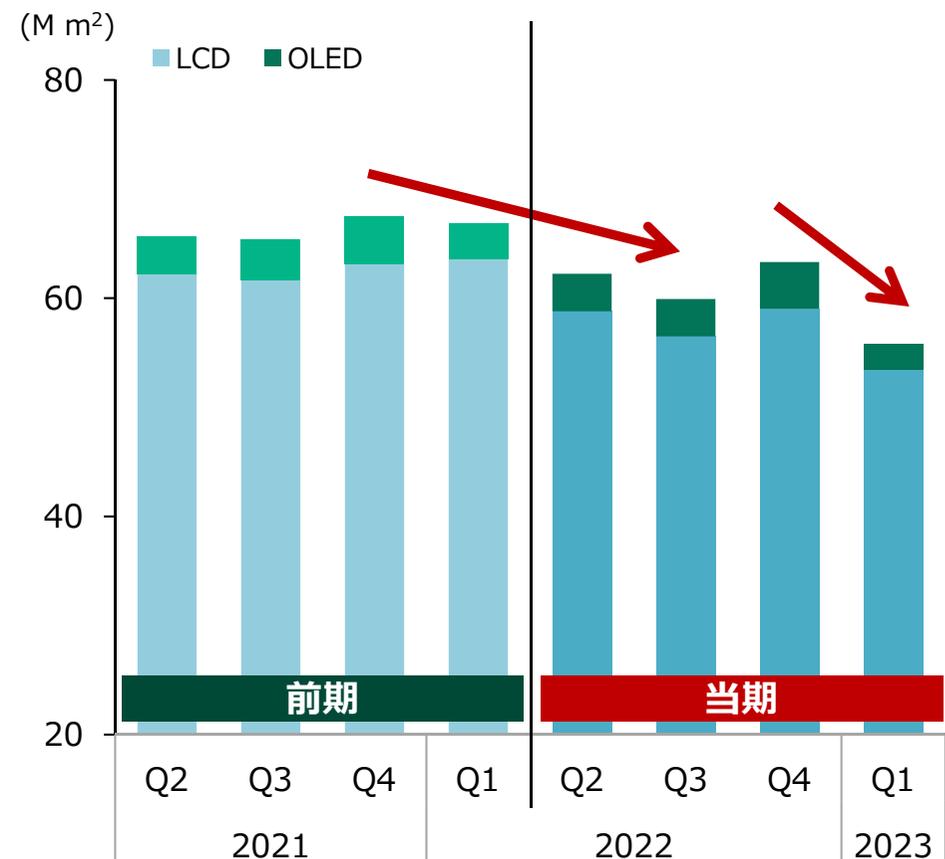
半導体市場/ディスプレイ市場 30ページ 東洋合成

- 2021年：コロナ禍の巣ごもり需要・物流混乱により、在庫需要を含め需要拡大。
- 2022年：消費減速と在庫水準適正化から需要減退。但し、先端半導体は堅調推移。
- 2023年：4-9月を底に緩やかに回復傾向の見込み

半導体市場規模



ディスプレイ面積需要



- 世界経済： コロナ禍からの経済活動正常化が継続、
ウクライナ情勢、インフレ、金利引上げ、金融不安
- 日本経済： 円安・物価高、インフレ、個人消費の回復傾向
- 半導体市場： 業界内の製品在庫積上げ・消費減退から生産調整
- ディスプレイ市場： 巣ごもり需要一巡・生産調整
- 香料市場： 在庫積上がりによる生産調整、原料高騰

事業の成果

感光材

先端半導体向け
販売堅調
先端以外は生産
調整影響で低調

高純度溶剤

需要減退・生産調
整影響
コスト上昇分の
価格反映継続

香料

業界内の
在庫調整継続

ケミカル タンクターミナル

化学品需要低調
タンク契約率は
高水準維持

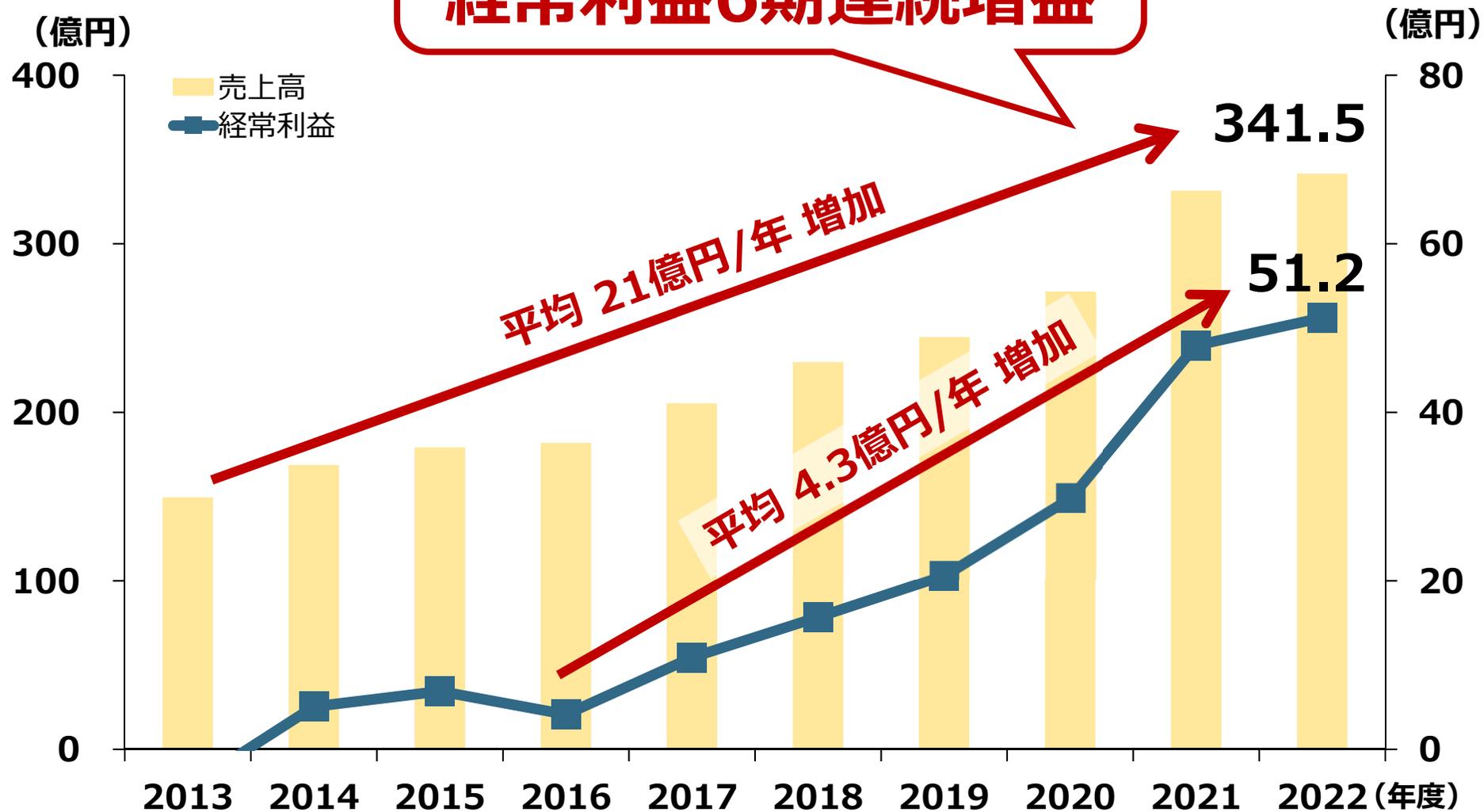
損益計算書

30、35、52ページ  東洋合成

- 売上高、利益面、全て過去最高を更新。

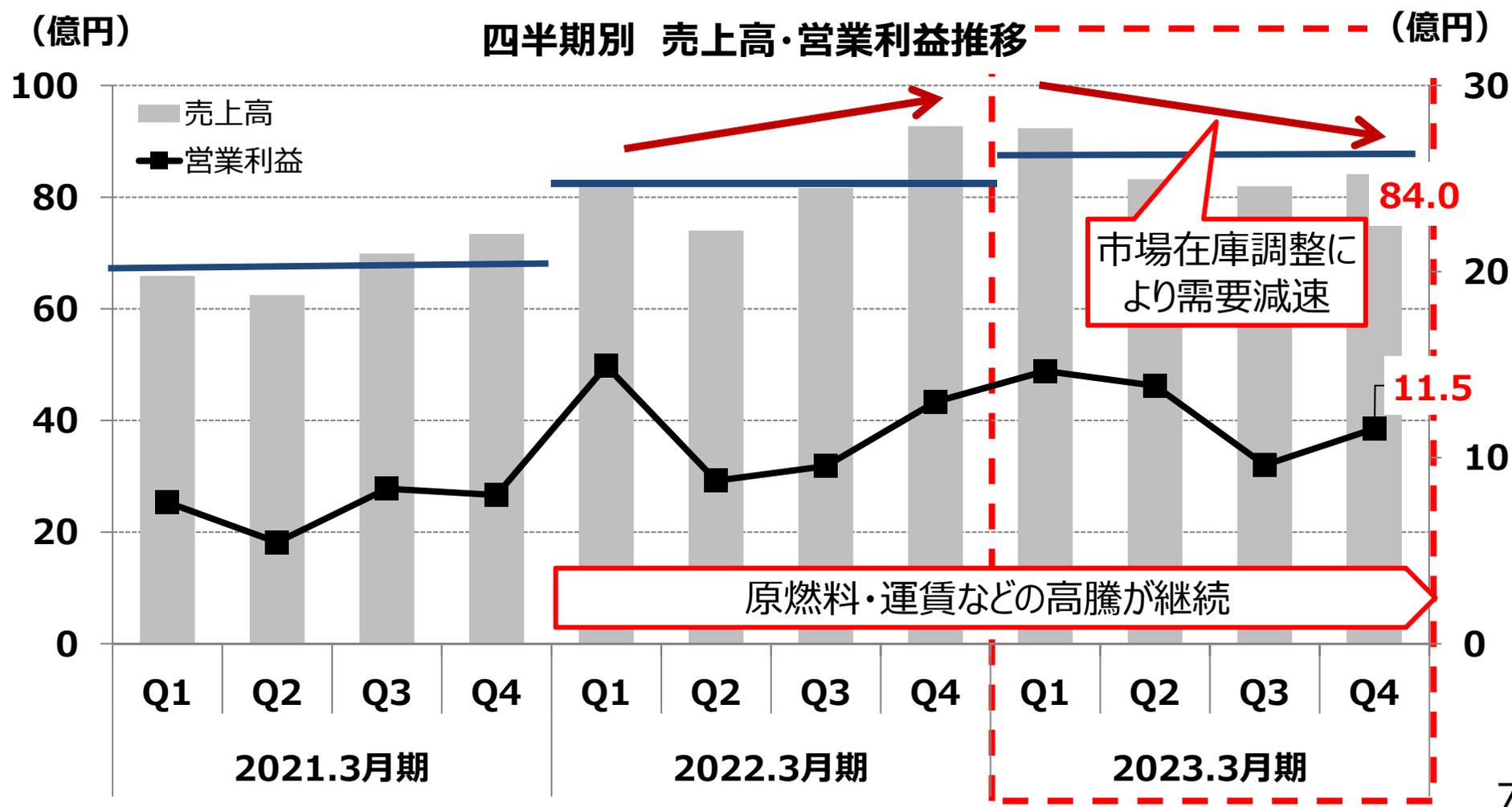
(百万円)	前期	当期	前年度比	
			増加額	増加率
売上高	33,144	34,156	+1,012	+3%
売上総利益	8,390	9,033	+643	+8%
営業利益	4,624	4,968	+344	+7%
経常利益	4,794	5,122	+327	+7%
当期純利益	3,457	3,827	+369	+11%
期中平均為替レート	¥112/\$	¥135/\$		

**売上高11期連続増収
経常利益6期連続増益**

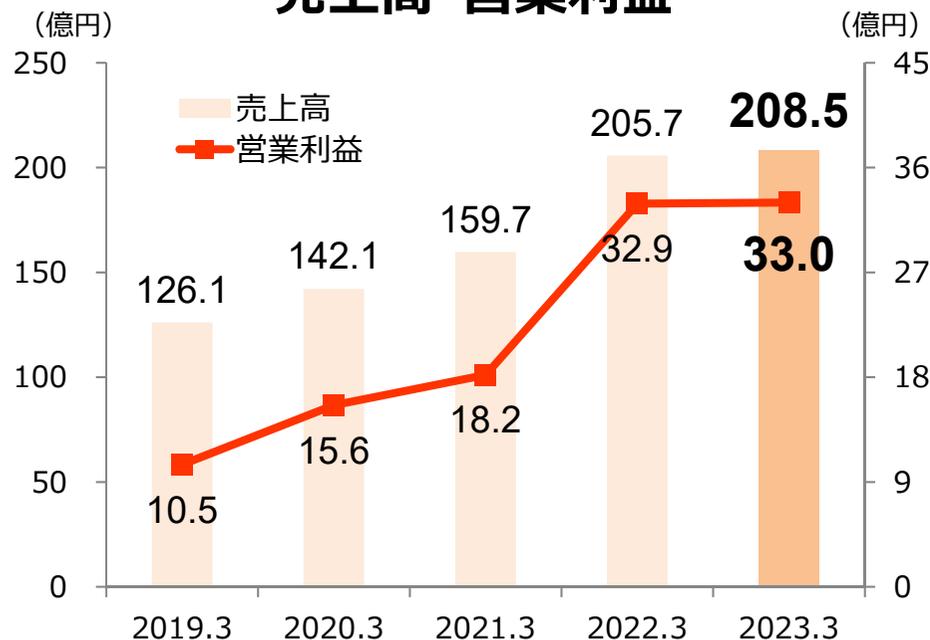


四半期別 売上高・営業利益推移

- 直近3年間の年平均成長率は+12.1%と、売上は継続的に拡大。
- Q1をピークに需要減退の中、年平均売上高は前年比+3%を達成。



売上高・営業利益



売上高：208.5億円

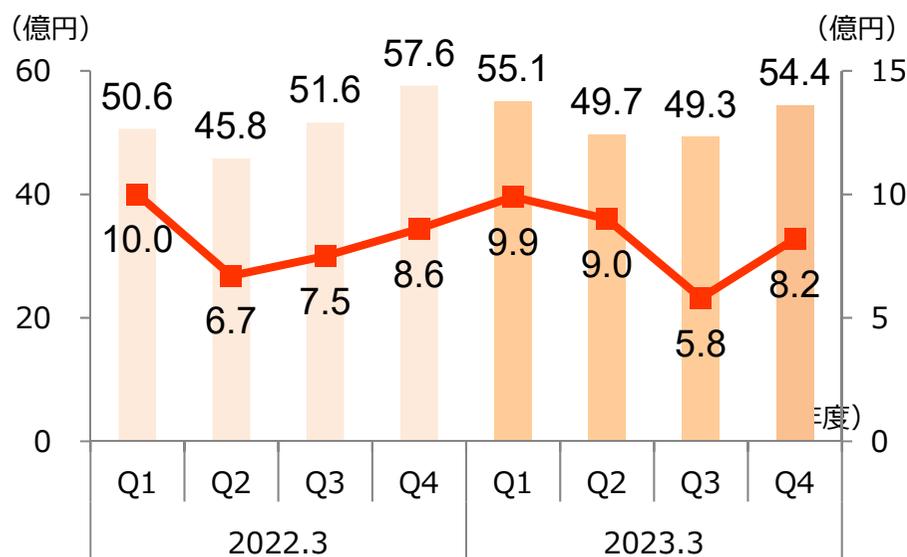
(前期比+2.8億円、+1.4%)

- ロジック半導体用途は需要拡大が継続。
- ディスプレイ向け感光材は在庫調整が発生し、需要が軟調に推移。
- 一般品は需要減退。

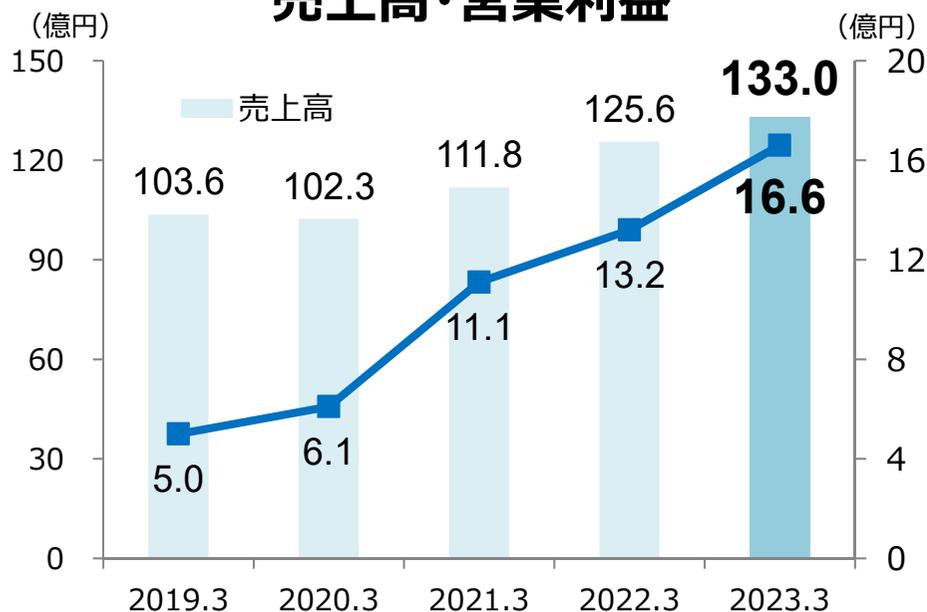
営業利益：33.0億円

(同+0.08億円、+0.3%)

- 技術開発や生産能力増強に伴う費用増を吸収し、前期水準維持。



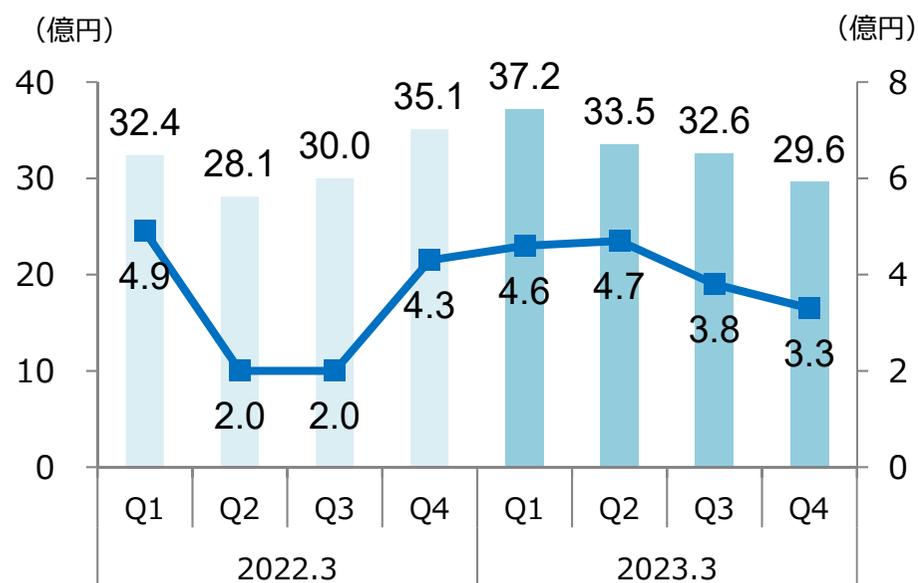
売上高・営業利益



売上高：133.0億円

(前期比+7.3億円、+5.8%)

- 半導体先端領域の高純度溶剤需要拡大
- 原材料高騰に伴う価格反映も進捗。
- 一般電子材料、香料はインフレにより需要減退。
- ロジスティック事業は、自動車の減産などから溶剤荷動きが減少したが、タンク契約率は高水準で推移。



営業利益：16.6億円

(同+3.3億円、+25.3%)

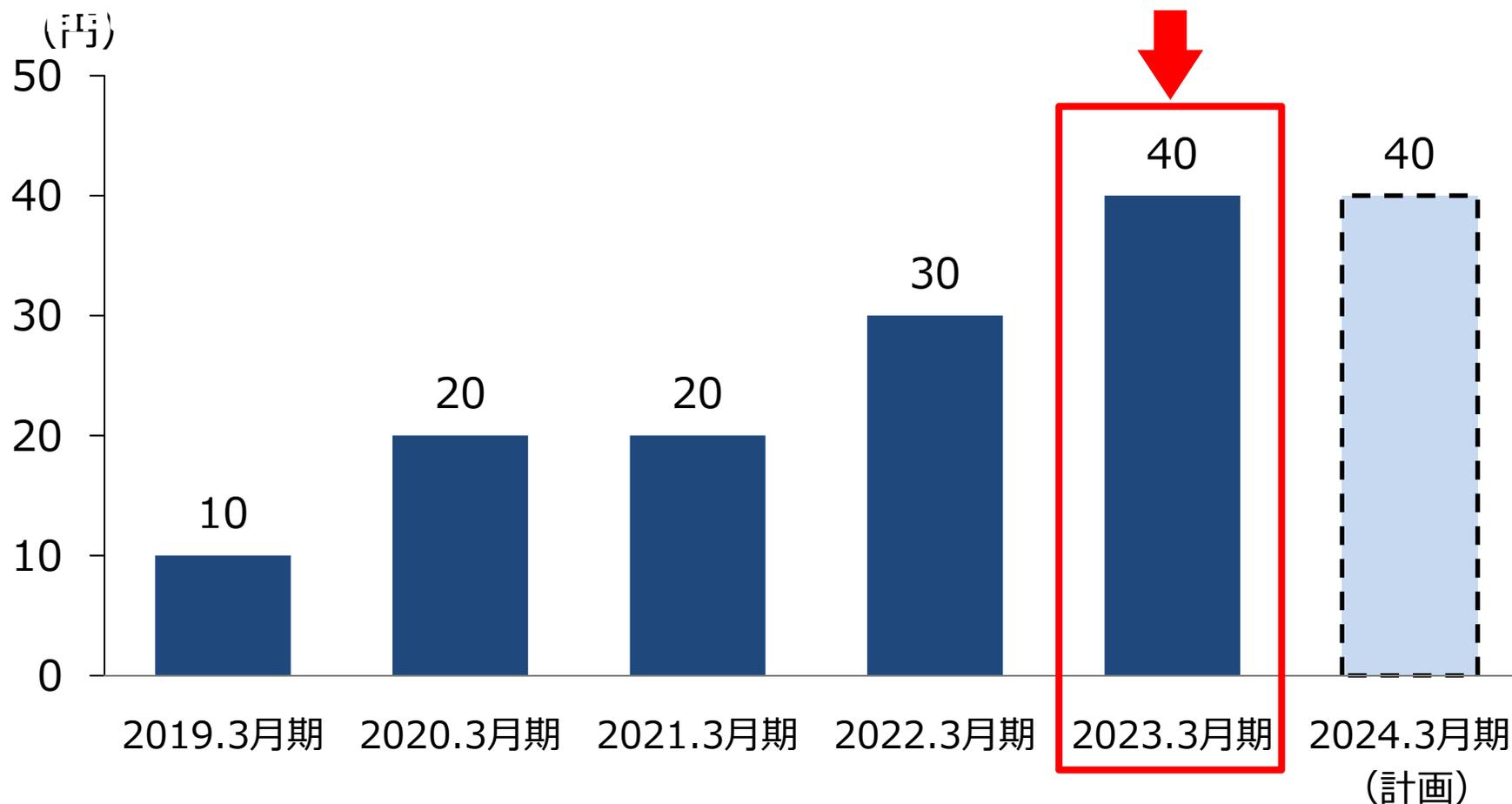
- 高純度溶剤の販売構成比が増加。

貸借対照表

- 自己資本比率は前期末34.3%から当期末38.4%へ+4.2pt良化

	2021年度末	2022年度末		
流動資産	19,766	21,685	+1,918	
現金預金	3,681	3,252	△428	
売上債権	7,402	5,912	△1,489	サイト短縮効果、4Q売上高減少
棚卸資産	8,080	11,758	+3,678	在庫適正化、原料単価上昇
その他	602	761	+158	
固定資産	27,119	29,420	+2,300	
有形固定資産	25,376	27,639	+2,263	生産能力増強の設備投資
無形固定資産	511	607	+96	
投資・その他	1,231	1,172	△58	
資産合計	46,886	51,105	+4,219	
負債	30,824	31,463	+639	
仕入債務	5,010	4,943	△66	
有利子負債	17,819	17,893	+74	前期末同水準を維持
その他	7,993	8,625	+631	
純資産	16,061	19,641	+3,580	
株主資本	16,007	19,556	+3,549	純利益の増加により増加
負債・純資産合計	46,886	51,105	+4,219	

- 株主還元・成長投資・財務バランス等を総合的に勘案し決定
- 当期配当は利益増を反映し、年間10円増配の40円
- 中期の成長を見込み、2024年3月期も年間配当40円を維持

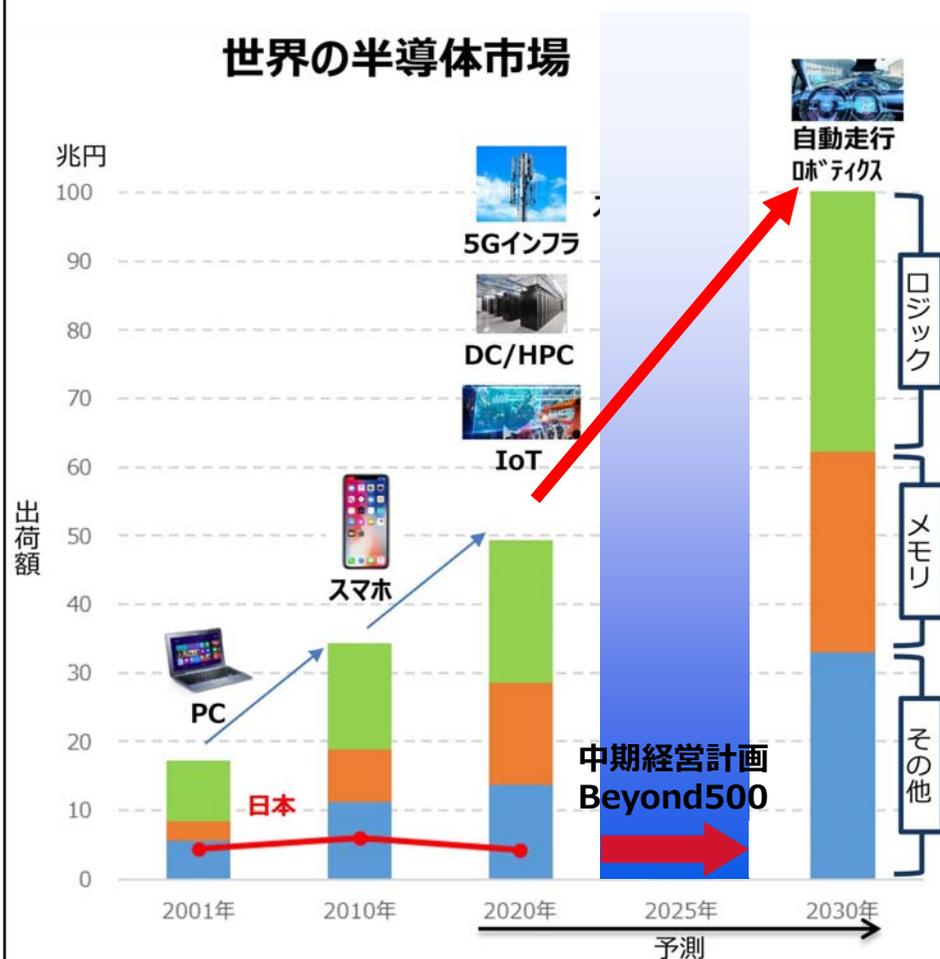


招集ご通知 32-34ページ

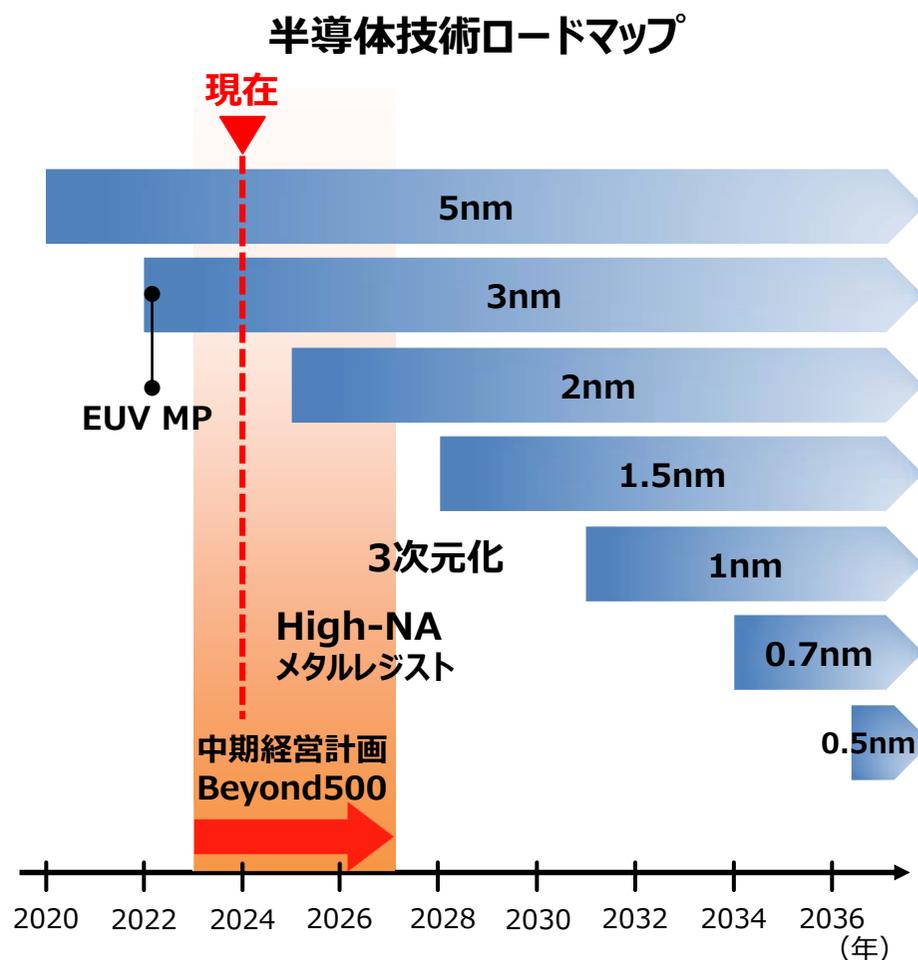
対処すべき課題

半導体市場の長期予測

- 社会インフラのデジタル化に伴い、2030年に向けて倍増の見込み。
- 70年間培った溶剤/感光材製造技術に磨きをかけ、業界の進化を支える
(微細化の進展/次世代EUV/3次元化/メタルレジストなど)



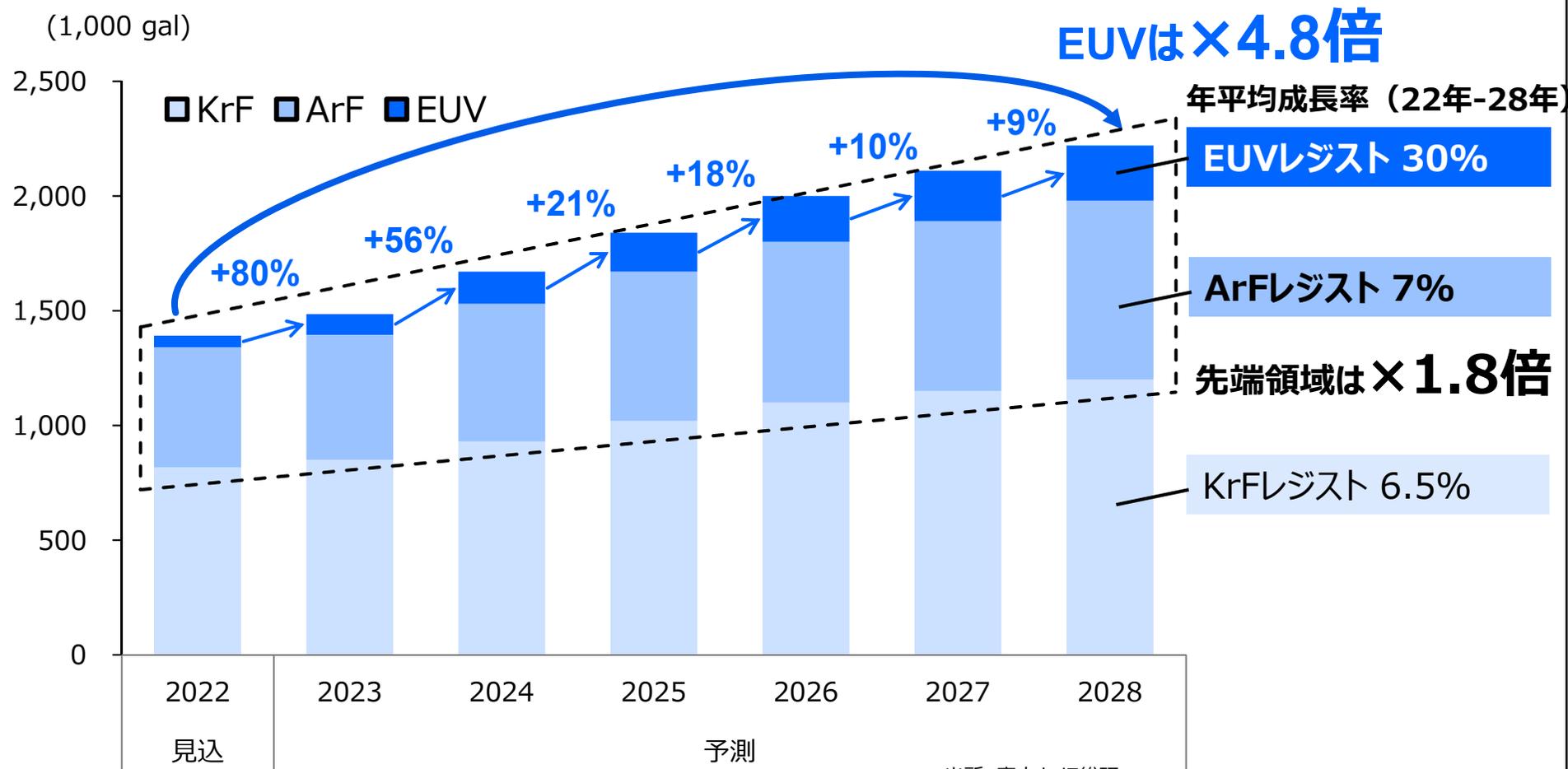
出所：経済産業省 半導体・デジタル産業戦略検討会議資料より抜粋



出所：IRDS2022より当社作成

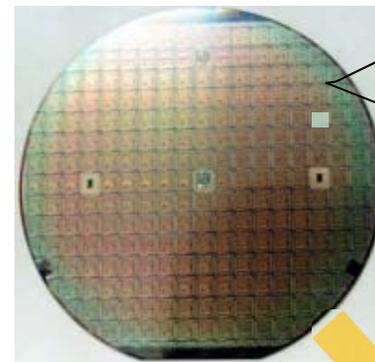
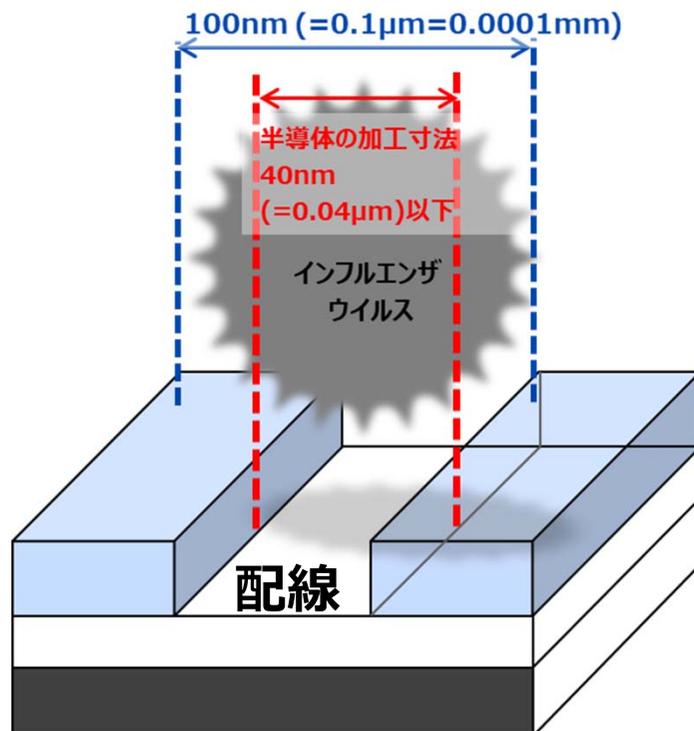
- 先端レジスト（EUV、ArF）の需要量は、2022年～2028年にかけて、1.8倍に拡大見込み。特に最先端のEUVは4.8倍に成長見込み。

フォトレジスト市場の予測

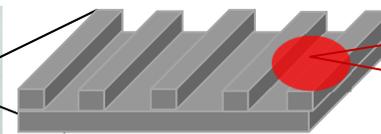


- 半導体黎明期から半世紀の量産実績、蓄積した技術ノウハウ、機を捉えた設備投資
- 世界シェア50~70%
- 先端半導体に必須の、極限まで高純度化した感光材や高純度溶剤を供給

10万分の1mmを管理



シリコンウェハ
直径 300mm



10nmの
欠陥1つでNG!

ウェハ1枚を
日本の面積に
例えると。。



日本の面積に
10円玉1枚
の欠陥でNG!

世界の進化を支える日本企業に選定

グローバルNO.1シェアの独自性の高い製品・サービスを開発する企業として、
経済産業省認定「2020年版グローバルニッチトップ企業（素材・化学部門）」
に選定。



申請・お問合せ English サイトマップ 本文へ 文字サイズ変更 小 中 大 アクセシビリティ 閲覧支援ツール

ニュースリリース 会見・談話 審議会・研究会 統計 政策について 経済産業省 について

ホーム ▶ ニュースリリース ▶ ニュースリリースアーカイブ ▶ 2020年度6月一覧 ▶ 2020年版「グローバルニッチトップ企業100選」を選定しました

2020年版「グローバルニッチトップ企業100選」を選定しました

2020年6月30日

▶ ものづくり/情報/流通・サービス

経済産業省は、世界市場のニッチ分野で勝ち抜いている企業や、国際情勢の変化の中でサプライチェーン上の重要性を増している部素材等の事業を有する優良な企業113社を、2020年版「グローバルニッチトップ企業100選」として選定しました。

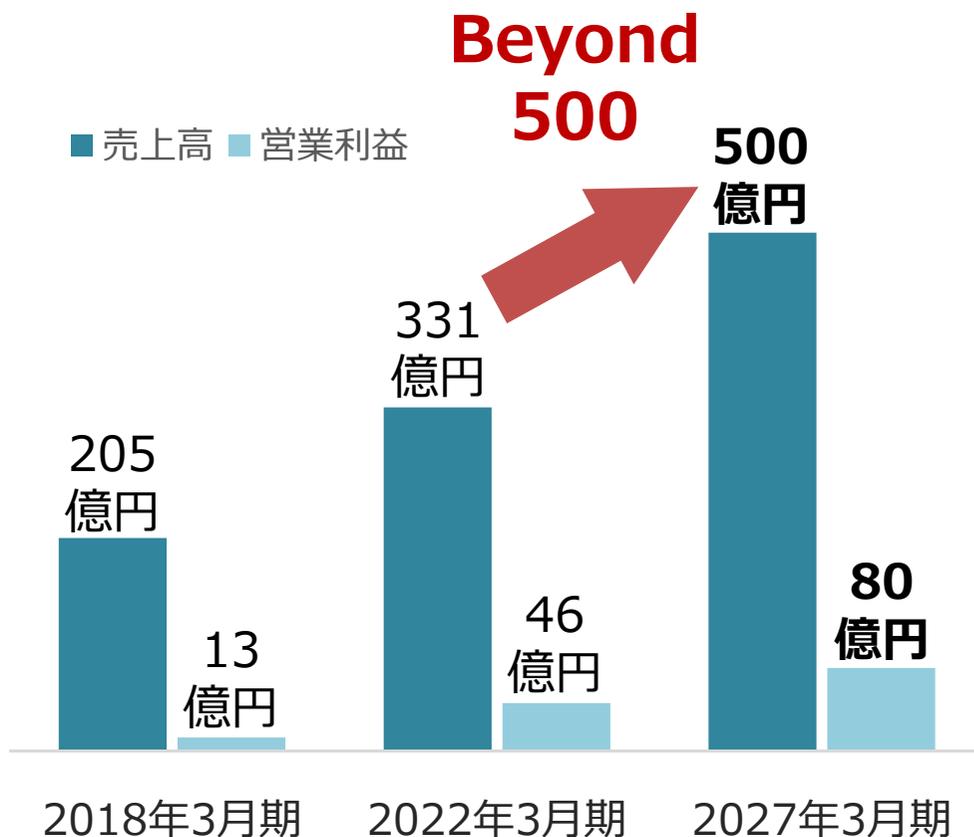
1. 2020年版「グローバルニッチトップ企業100選」について

前回（2013年度）に実施した「グローバルニッチトップ企業100選」の後、デジタル経済の進展や世界の政治経済情勢の変動、少子高齢化のような社会構造変化など、日本企業を取り巻く事業環境は変化してきています。

こうした状況を踏まえ、新たな厳しい経済環境の中においてもニッチ分野で勝ち抜いている企業や、サプライチェーン上の重要性を増している部素材等の事業を有する企業などを、2020年版「グローバルニッチトップ企業100選」として新たに公募し、選定を行いました。



5か年のBeyond500（売上高1.5倍、利益1.7倍）を遂行中



2027年3月期目標
 売上高：500億円以上
 営業利益：80億円以上
 （16%以上）
 設備投資額：300億円
 （中期経営計画期間累計）
 ※為替前提：¥115/\$

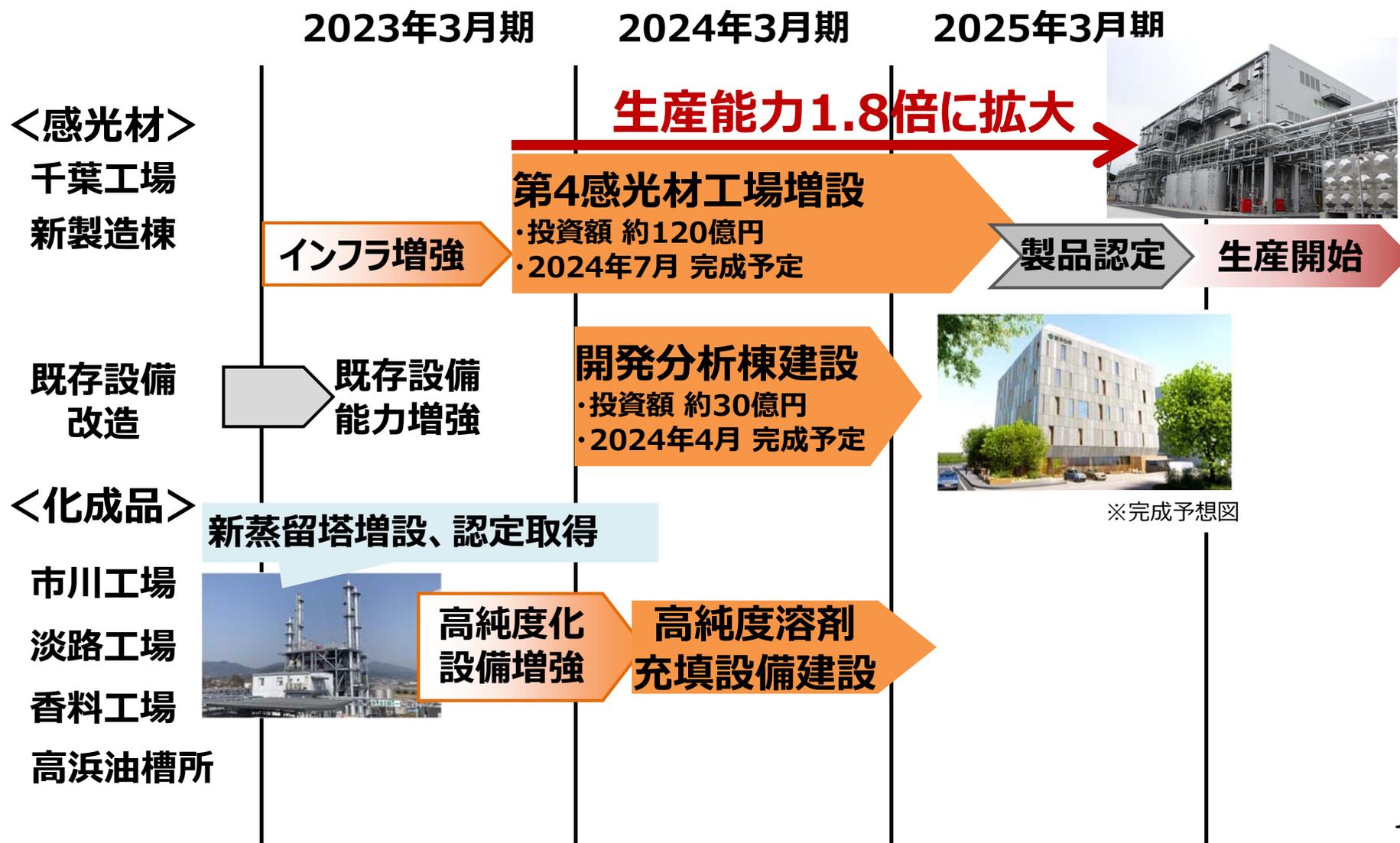


営業利益率	2018年3月期	2022年3月期	2027年3月期
	6.3%	14.0%	16%以上

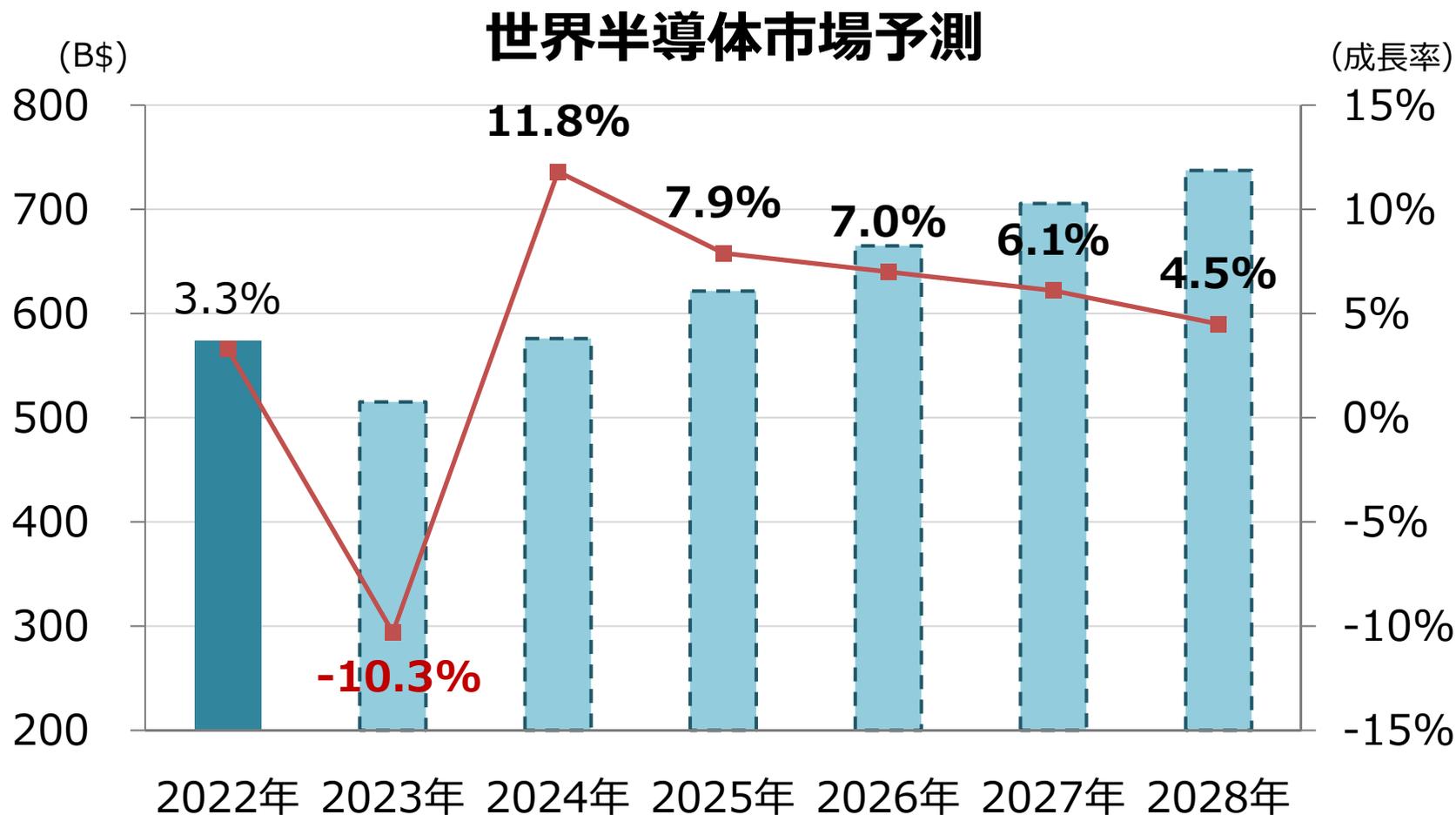
2022年3月期実績
 売上高：331億円
 営業利益：46億円（14%）

各事業の生産能力増強

Beyond500の達成に向け、継続的に生産能力増強中



2023年はマイナス成長だが、2024年以降は高成長に回帰



予測

出所：WSTS、富士キメラ総研資料より当社作成19

2024年3月期 業績予想



- 2024年3月期売上は前年同等。上期を底に、下期から緩やかな回復へ
- 中期の需要拡大トレンドに変化はないため、投資継続
- 人員、設備、技術開発、生産などのコスト増を見込む

(百万円)	2023.3月期 実績	2024.3月期 業績予想	増減額	増減率
売上高	34,156	34,500	+343	+1%
営業利益	4,968	2,600	△2,368	△48%
経常利益	5,122	2,500	△2,622	△51%
当期純利益	3,827	1,600	△2,227	△58%
1株当たり 当期純利益	482円	201円		
為替レート (USD)	¥135/\$	¥130/\$		

- 半導体・ディスプレイ市場が調整局面ではありますが、
当社は景気回復後の需要拡大・事業成長に向けて、
人員増強・設備投資等の生産能力増強を戦略的に進めてまいります。

- ✓ 感光材・
超高純度溶剤： 需要拡大に応える十分な供給能力
- ✓ 香料材料： 高品質製品の安定供給
- ✓ 香料材料： 積極的な拡販と安定供給
- ✓ 化学品
タンクターミナル： DXや高品質な保管技術を活かした差別化

- 連続的成長を支える競争力強化

- 人材育成： 次世代リーダー育成と育成環境構築
- 技術戦略の強化： 顧客品質と生産性の両立、DX活用
- 経営基盤の強化： 収益/財務体質強化、環境・地域貢献・多様性

社会的責任と持続可能な社会に向けて 東洋合成

化学メーカーとして、経営理念を礎に、4つの責任を掲げ、持続的発展可能な地球環境の実現を目指し、人類文明の成長に貢献

- 化学メーカーとしての責任（安全・環境）
- 素材産業としての責任（品質・安定供給）
- 人々の未来を支える責任（研究開発・人材育成・サステナビリティ）
- すべての事業活動の基本となる責任（人材・ダイバーシティ、ガバナンス、コンプライアンス）

脱炭素の環境調和型DX社会の実現に向け、事業活動を通して課題解決に貢献。未来に向けて、ESG、SDGsを推進。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Governance

コーポレートガバナンス強化

- ・ CGコード全原則適用で見直し実施
- ・ 取締役会実効性評価の実施
- ・ 指名報酬諮問委員会の設置



JPX-NIKKEI Mid Small
JPX日経中小型株指数
構成銘柄に選定

ダイバーシティ

日経ウーマンオブザイヤー2022 受賞（内閣府）
感光材・ダイバーシティ担当 平澤聡美 取締役



育児サポート

- ・ 男性の育児参加を促進
- ・ 男性育休取得率28%
- ・ くるみん認定取得



奨学金・研究助成

- ・ 東庄町、千葉大、理大、日大、千葉工大、早大、京大など
- ・ 東洋合成記念財団

地域貢献・地元のスポーツ振興支援

- ・ 千葉ロッテマリーンズ
- ・ 鹿島アントラーズ

Social

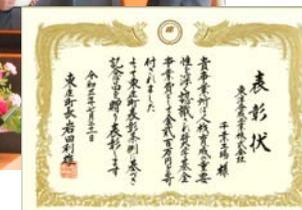
Environment

エネルギー使用の合理化

非化石エネルギーへの転換を進めるため、
工場の一部電力を非化石電力へ転換

事業継続計画・サステナビリティ調査

- ・ エコバディスサステナビリティ調査 シルバー評価
- ・ 日本政策投資銀行 BCM格付
「防災及び事業継続への取り組みが特に優れている」と評価
- ・ ISO 22301（事業継続マネジメント）取得
化学業では日本で2番目に取得



安全への取り組み

東洋合成工業では、安全こそが競争力の源泉と捉え、全社組織として環境安全委員会を設置し、各事業所の安全衛生委員会を中心に、安全最優先の人材育成/事業活動を行っています。

事業部長・事業所間相互安全パトロール



全員が実感
できる、安全
文化の醸成

労災防止への改善活動



運送企業と連携した安全教育



ヒヤリハット活動、安全教育、全社表彰



模擬による安全啓発活動



創業来、世の中のニーズに対し、技術を通して真摯に取り組み、高純度化技術・合成技術・製造技術を磨き、現在に至っております。

あらゆる機器のデータがリアルタイムにネットワークでつながり、AIの活用も始まっている今、さらなる進化に向け、電子材料は高度化/多品種化し、お客様からも数多くのご要望を頂いております。

足元は半導体は調整局面ですが、中期の拡大トレンドに変更はなく、社会の持続的成長に向け、安全を最優先に、新中期経営計画「Beyond500」の達成と安定供給の実現に邁進してまいります。

ご支援いただいている、株主様やステークホルダーの皆様のご期待に応えるべく、社員一丸となり企業価値向上を目指してまいります。

何卒、引き続きのご理解・ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

独創的な視点で世界へ

Individual Development, to the global Chemical

東洋合成工業株式会社

(見通しに関する注意事項)

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。

従いまして、実際の業績は、様々な要因やリスクにより、この業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。